

# AJUちゃれっこ通信 第16号

編集者：特定非営利活動法人 チャレンジド

〒470-3233 愛知県知多郡美浜町奥田儀路272番地

TEL/FAX：0569-87-6727

E-mail：npochallenged@y2.dion.ne.jp

HP：<http://challenged.yh.land.to>



## 春めいてまいりました。

理事長 辻直哉

梅の花も咲き、春のいぶきを感じられる季節となりました。

旧年は、みなさまのあたたかいご支援の下、さまざまな難局を乗り越えることができました。この場をお借りしまして、深くお礼を申し上げます。

さて、現在の日本は、経済状況をはじめ、極めて混沌とした状況が続いています。われわれ福祉業界も例外ではなく、来年度は一層厳しい状況が続くことが予想されます。特に、この小さな美浜町、南知多町では、困難を極める年度になるやもしれません。

しかし、このような厳しい状況下だからこそ、数少ないチャンスを見つけ出し、最大限有効に活用しなければなりません。

現在、事務局では来年度に向けて、「難局をチャンスに変える」ためには、なにが必要かについて、一丸となって取り組んでいるところです。

会員のみなさまをはじめ、支援者のみなさまには、より一層のお知恵とお力を賜りますようよろしくお願いいたします。

末尾になりましたが、みなさまのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

### もくじ

- P1 理事長あいさつ
- P2 「夢のつばさ」講演会
- P2・3 知多四国のお寺を巡るツアー
- P3 大阪の自立生活センター・リアライズへ研修に行ってきました！！
- P4・5 卒業生ありがとう特集
- P6 ヘルパーステーションNEO&ちゃれっこくらぶ報告
- P7・8 御礼とその他

# 「夢のつばさ」講演会

想いを語ってくださった理事長の原さん



12月7日（日）、長野県阿智村にある、知的障害者通所授産施設「夢のつばさ」の理事長の原一広さん、施設長・原正秋さんにお越しいただき、『地域と共につくった「夢のつばさ」の取り組みから学ぶ』というテーマで、ご講演をいただきました。

美浜町の親御さんの中からも、卒業後地域で働く場をつくりたいね、という声があがってくる中、小さな村で、当事者家族の願いを形にしてこられた「夢のつばさ」のお話を、ぜひ参考にしたいと思い、企画しました。

当日は、親御さんや学生さんなど、約30名の方が参加。皆、両原さんの熱のこもった講演に、真剣に聞き入っていました。「夢のつばさ」は、障害児の保護者やその支援者が中心となり、村民の理解を得て、平成17年に設立。養護学校を卒業したばかりの方、重度の障害をもつ方など、20名が通所。農業、地域の食材を生かしたパンやお菓子づくり、会社の下請けなどの活動を行っています。

今では阿智村の障害のある方が、生き生き過ごせる居場所になっている「夢のつばさ」ですが、卒業後の行き場がないという切羽詰った状況で、「何とか通える場所をつくれないだろうか」と、親御さんたちがこたつを囲んで会議をしたところが出発点だったそうです。「村長さんの理解や、多くの協力者に恵まれたことなど、ありえないほど幸運に恵まれた」と、理事長さんはおっしゃっていましたが、村の人たちを動かすくらい、熱心に勉強し、行動してこられたからこそ、実現につながった様子が、とても印象的でした。参加された方それぞれにとって、心に響くお話だったのではないのでしょうか。

チャレンジドでも今後、美浜地域のイメージを描きながら、親御さんや地域の皆さんとの学習の機会をつくっていききたいと思います。（石川）

## 知多四国のお寺を巡るツアー

去る11月2日（日）、「知多四国のお寺を障害のある人とない人と共に巡り、歴史を知るツアー（愛知県のこころのバリアフリー推進事業）」を行いました。ツアーの狙いは、お寺という、一見障害のある方にとってバリアだらけに思われる場所で、どうバリアを乗り越え、一緒に楽しめるかを発見してもらうこと。



当日は、さわやかな秋晴れの空の下、中学生、大学生、一般のボランティアの方、障がいのあるお子さんとご家族などを含め、総勢34名が参加。7箇所のお寺を歩いて廻り、般若心経を唱え参拝。2箇所のお寺では、歴史

密蔵院の住職さんのお話を伺いました

の説明も受けました。参加者は、年齢、障害、立場も様々でしたが、皆で協力しあったせいか、交流もはずみ、笑顔あふれる充実したツアーになりました。

終了後、参加者からは「障害のある人と初めて外に出て、身近なバリアに気づいた」、「坂や砂利道が大変だったが、ちょっとした手助けにより、一緒に楽しめるんだなと感じた」などの感想が聞かれ、それぞれにとって、有意義な発見ができたようです。今後も、地域の中학생や住民の方たちと、もっともっと

触れ合う企画をしたいと思います。これからも、皆さんで楽しく学びや発見をしていきましょう。チャレンジド HP (<http://challenged.yh.land.to/>)にて、ツアーの様子や参加者の感想を掲載しています。ぜひご覧ください！（石川）



小さなスロープにびっくり！

## 大阪の自立生活センター・リアライズへ 研修に行ってきました！！！！

2008年12月26日（金）27日（土）、チャレンジドの石川・青木と介助者の鈴木のみで、大阪府泉大津市にある、NPO法人リアライズへ研修に行ってきました。リアライズは、桃山学院大学に通う障害学生と、地域の障害者の自立生活支援を行っています。今回の研修は、チャレンジドと同じように、障害学生の支援をしているリアライズの皆さんと、ぜひ交流ができればと思い、昨年6月、辻と石川が訪問したのをきっかけに、実現しました。

研修といっても、講義とは違い、仲間との出会いや交流から学ぶのがメイン。こんなに楽しんでよいのかな？と思うくらいでしたが、リアライズの皆さんとの出会いから、いっぱい刺激を受け、学ばせてもらいました。

代表の三井さんは、桃山学院大学の卒業生、車いすで生活されています。リアライズを始めたのは、障害者運動が盛んと言われる大阪の中でも、まだ福祉の乏しい泉大津市を変えていきたいとの熱い思いから。そんな思いにひかれて、自分の生活に向かって歩んでいる当事者の方、寄り添うサポーターの方、たくさんの人の輪が広がっているようでした。桃山学院大学2年生で、リアライズのサポートを受けながら、一人暮らしを目指している学生さんともお話でき、よい交流がもてました。お話や交流から「当事者がサポートの担い手になっていくこと」の可能性を感じることができたように思います。

研修では、青木さん、石川共に、今後の自分自身や、活動につながるヒントをたくさんもらうことができました。

そして、仲間のネットワークを大事にすること、みんなが楽しくやるという原点を、改めて感じた2日間でした。チャレンジドでも、心強い仲間のネットワークを生かしていきたいと思います。（石川）



リアライズのみなさんと研修中

# 卒業生のみなさん、ありがとうございました!!!

今年も、チャレンジドで活躍してくれた、日本福祉大学の学生さんたちが卒業していけます。

そんな卒業生たちを、今回は特集で紹介したいと思います。

## 加藤舞子（かとう まいこ）さん



秋田県横手市出身。

脳性まひで、車いすで生活しています。

Q1:大学生活を振り返って印象に残っていることは？

いろんなところに行けて楽しかったです。特に去年の夏、ゼミのみんなで先生の自宅にお泊まりしたのがめっちゃ楽しかった！

それと、就職活動かな。自分が予想した以上に、社会の壁は厳しいと感じた。結局、就職は決まらなかったけど、いろんなことを学びました。

Q2:4年間、一人暮らしを経験しての感想は？

友達やヘルパー、色んな人と関わりながら、生活してこれたことが大きな経験になりました。一人暮

らしを経験したからこそ、今は家族の存在に感謝しています。

Q3:チャレンジドと関わったきっかけは？

最初は、チャレカーに乗せてもらっているだけだったけど、2年のころからいろんな活動に関わらせてもらいました。

Q4:チャレンジドでの思い出

一番は福祉実践教室の講師として、布土小学校で子どもたちに話をしたこと。いつも気にかけてくれていたスタッフの皆さんにも感謝でいっぱいです。

Q5:卒業後は、どんな道に進みますか？または、卒業後やってみたいこと。

地元で行政か社協の職員として働けたら…。みんなが住みやすい街を作るために、自分ができることをやっていきたいです。

Q6:後輩へのメッセージ

学生のうちにいろんなことを経験して自分のアピールポイントを作ってください。あとで絶対役に立つはず！皆さん、4年間ありがとうございました。

総会や、子どもたちのための資金集め、ヘルパー研修など、チャレンジドのいろいろな行事にはいつも舞子さんがいました。これからの、ご活躍を楽しみにしています！



# 高橋都子 (たかはし くにこ) さん

出身地：三重県四日市市

障害の状況：全盲

Q1:大学生活でどんなことが印象に残っていますか？

一人暮らしがきっかけかもしれませんが、自分から声をかけたり、集団に参加したりすることに抵抗があった以前よりも、明るくなったと友人や親にいわれたことです。それと、音楽サークルで24時間テレビの出演やバンド演奏の時も役割を与えてもらう喜びを感じたことです。

Q2:チャレンジドと関わったきっかけは？

地元の社会福祉協議会に紹介していただき、利用し始めました。

Q3:卒業後、やっていきたいことは？

これからも、特技を磨きながら、自分のできることを増やしていきたいため、楽器を習いに行ったり、産業カウンセラー初級資格取得などを学業と両立していきたいです。

大学4年生になってから、はじめてヘルパー利用で関わらせていただきました。一見おとなしいけれど、実はとってもユニークな高橋さん。美容院に行って人生で初めて髪を染めてみたり、ヘルパーさんと出かけられる幅が広がったと、言ってくれました。

## 山田耕伸さん

美浜に住んで12年、ヘルパー制度のないころから、一人暮らしをされていました。

とてもおおらかな人柄で、耕伸さんに相談に乗ってもらったヘルパーさんも多いのでは？

## ヘルパーの皆さん

平野里枝さん、藤井幸子さん、佐藤花奈さん、林美穂さん、筒井沙織さん  
利用者さんの地域生活を一緒に支えてくださってありがとうございました！  
これからのご活躍を期待しています！！

## 訃報 ~ 森勇貴くんありがとう

1月17日、利用者さんの森勇貴くんが10歳で永眠されました。ゲームなど、楽しいことが大好きなゆうくん。とてもがんばりやで、笑顔がすてきな男の子でした。ヘルパーと一緒に遊ぶ時もたくさんの笑顔を見せてくれましたね。

勇貴くんとの思い出を大事にして、これからも利用者さんと過ごせる一瞬一瞬を大事にしていきたいなと思いました。勇貴くん、本当にありがとう。

# ヘルパーステーションNEO

現在、チャレンジドでは職員が足りていない状況で、利用のお断りなどもあり、大変ご迷惑をおかけしています。このような状況になったときに、利用者の皆様から心配の声と温かいお言葉もいただき、チャレンジドが美浜で利用者さんと一緒に活動してきた5年間の年月を感じて、感謝の気持ちでいっぱいになります。それと同時に、しっかり事務局の体制を立て直して、より多くのサービスが提供できるよう、心がけていかなければ。とスタッフ一同気持ちを新たにしているところです。

今年はどんな一年になるでしょうか。楽しいことがたくさん的一年になるよう、考えていきたいものですね。(蟹江)

## ちゃれっこくらぶ

寒い日が続いていますが、寒さに負けず、ちゃれっこくらぶに来ている子どもさんたちは、元気いっぱいです!!!

お水が大好きな子どもたちも多いので夏はプール三昧、秋はお散歩、冬は食欲の季節でおやつ作りに夢中です。今年の冬休みのちゃれっこくらぶでは、みんなでサンタに変身しました。

本格的にちゃれっこくらぶがはじまってからの一年、子どもさんたちも少しずつできること、楽しいなことが増えてきているように思います。他の子がいるので少しがまんをできた子、はじめは食べる専門だったおやつ作りに参加できた子、自立課題に挑戦してみた子、それぞれの子が少しずつ小さな挑戦をしています。仲良しの子もでき、他の子に会えるのが楽しみになってきたことも、うれしいことですね。1月から、ちゃれっこくらぶに新しい子も仲間入りで、ますますにぎやかになりました。今年も、もっともっと子どもさんたちの楽しい思い出ができていくといいな、と思っています。

今年も、子どもさんたちの笑い声がたくさん聞こえるチャレンジドになるよう、スタッフ一同がんばっていきますので、よろしくおねがいします。(蟹江)

### なかよし☆☆



サンタさんに変身!



夏のプールは、最高!

## 退職職員挨拶

### 藤垣直也

在職中は公私にわたり大変お世話になりました。退職の際は、十分な挨拶もな  
いまま、また突然の転職に伴い、多くのご迷惑をおかけしました。

この約五年間のチャレンジドの活動では 障がい者の地域生活を支える活動  
団体づくりの大切さを感じました。そして みんなで力を合わせて前向きに挑戦  
しつづけることの素晴らしさを実感することができました。なによりも、一人  
前の支援者になりきれない私におつきあい頂きました、利用者さんとそのご  
家族の皆様ありがとうございました。 本当に 皆様との出会いに感謝です。

私自身、これからは地元の岐阜にて、衆議院議員を支える立場として微力なが  
ら日本の福祉政策がより良いものになるよう、日々政治活動と秘書としての公  
務活動を行ってまいります。 私の政治活動の礎は チャレンジドの活動です。

私のできることは小さなことですが、いつも視点は『生活者の目線』である  
よう、一人ひとりの声を 福祉施策に活かせる政治家になれるように努力した  
いと思います。

寒い日が続きますが、お体に気をつけてお過ごし下さい。皆様のご多幸をこ  
ろより祈念いたします。

## ご協力をお願い

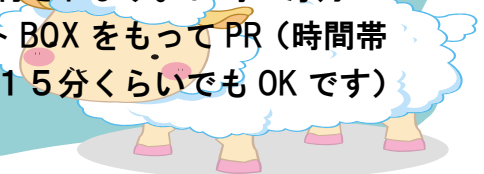
### ★支援グッズづくり・拠点整備のお手伝い

ちやれっこくらぶ（日中一時）に来る子どもたちの支援グッズづくりや、チ  
ャレンジドの拠点をみんなが過ごしやすい空間にするための拠点整備を、事務  
局スタッフと一緒に手伝っていただけませんか。

支援グッズづくりは、親御さんから子どもさんの様子をうかがったり、日ご  
ろのチャレンジドでの様子をお話したりしながら、和気あいあいとできると良  
いなと思っています。日時：毎月第2火曜日の午前10時～12時、お時間の  
あるとき、できる範囲で結構です。

### ★イオン・レシートキャンペーン、ご協力をお願い！

チャレンジドでは、活動資金集めのため、「イオン・幸せのレシートキャンペ  
ーン」に参加しています。毎月11日、買い物したレシートをチャレンジドの  
BOXに入れていただくと、その売り上げの1%が寄付されます。日時：毎月1  
1日、ジャスコ半田店にて、チャレンジドのレシートBOXをもってPR（時間帯  
はいつでもOK。買い物ついでほんの少しの時間、15分くらいでもOKです）



## お礼 ～あたたかいご支援に感謝！

☆広野さち江さんより、座布団、食器等多数のご寄付、台所食器棚の取り付けをしていただきました。

☆大家さんの西川さんには、日ごろより私たちの活動をご理解いただき、拠点を快適に使わせていただいています。

その他多くの方より、ご支援をいただき、本当にありがとうございました。

## 譲ってください

DVDプレイヤー、ビデオなどちやれっこくらぶで子どもたちが使えるおもちゃ  
布団・座布団・パソコン・自転車など、いらなくなったものがあれば、おねがいします。

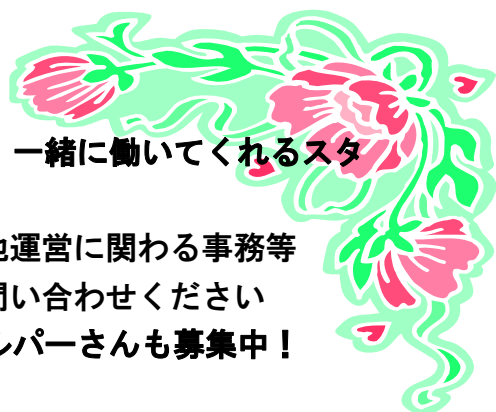
## 常勤職員さん募集中！

チャレンジドでは、障害のある当事者に寄り添って、一緒に働いてくれるスタッフさんを、大募集しています。

勤務内容：主に障害のある方のホームヘルプ、その他運営に関わる事務等

資格：普通運転免許。 \*その他、詳しくは、お問い合わせください

☆しょうがいを持つ方の地域生活を支えてくれるヘルパーさんも募集中！



チャレンジドの事業を  
応援して下さる会員さんを  
募集しています

正会員 2500円

賛助会員 個人 3000円

団体 5000円

新たに会員になってくださった方

宮本ゆかり様 戸塚蓉子様

ありがとうございます！

## 重度訪問介護支援員養成講座 のお知らせ

「講義」と「実習」の2日間で取得できる基礎的な資格です

ヘルパー活動したいけど、まだ資格はもっていないという方、ぜひ受講してみませんか。

☆受講を希望される方は、まずご連絡ください！講座日時は、希望に応じて調整も可能です。

